

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原中央計画 新築工事	階数	地上10F地下1F
建設地	相模原市中央区陽光台1丁目5173-1外8番	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域 準防火地域	平均居住人員	620 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2018年9月10日
敷地面積	7,686 m ²	作成者	りんかい日産建設(株)一級建築士事務所
建築面積	2,325 m ²	確認日	2018年9月18日
延床面積	18,600 m ²	確認者	りんかい日産建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE=1.4 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室内環境、サービス性能、室外環境、建築物の環境負荷低減性、資源・マテリアル、敷地外環境を基本に標準的な取組みが行われた計画としている。</p>	<p>その他 特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>光・視環境に配慮した計画であり、昼光率では共用部が2.0%、住居で2.4%確保した計画である。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>機械・配管支持方法について配慮しており、水平震度を1.5以上を確保している。 また、階高を2.9m以上確保しており、ゆとりのある設計としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内温熱環境の向上において15ポイント以上の評価する取組みがある</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建築物の環境負荷低減性について標準的な計画としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>資源・マテリアルに関して節水に配慮した計画及び部材の再利用の可能性に配慮した計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地外環境に関して、駐車場や駐輪場、荷捌き等十分なスペースを確保し、敷地外へのアクセスに關しても路地から主要な道路へつながるものとし、周辺道路の交通にも配慮した設計としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される